

2005 年度第 3 回日本学生オリエンテーション連盟幹事会 議事録

2006 年 1 月 24 日

広報部長 丸藤純

日時：1 月 21 日（土） 15 時～

場所：東京都八王子市 大学セミナーハウス 国際セミナー館内会議室

出席者

幹事・会計監査

氏名	役職	学校と学年	出席
高橋元気	幹事長	東北大学 4 年	
袴田優美	会計	実践女子大学 3 年	
櫻木伸也	事業部長	静岡大学 4 年	
丸藤純	広報部長	岩手大学 2 年	
三矢麻以	事務局長	実践女子大学 3 年	×
市川雄一朗	普及部長	大阪外国語大学 3 年	
真名垣友樹	北東地区代表幹事	北海道大学 3 年	
高橋弘恵	関東地区代表幹事	茨城大学 3 年	
本郷真弓	北信越地区代表幹事	金沢大学 3 年	
福味亮仲	東海地区代表幹事	静岡大学 3 年	
大西康平	関西地区代表幹事	京都大学 3 年	
倉田陽子	中九四地区代表幹事	山口大学 3 年	
川上由紀子	会計監査	新潟大学 3 年	×
高瀬悠太	会計監査	東京工業大学 3 年	

理事・その他役員

山口尚宏	理事		
土方隆	理事 ICM&R、理事会会計		
堺信夫	理事		
広江淳良	理事 JOA		
田島聖子	春 IC 実行委員長		
花木睦子	春 IC 実行委員 学生担当		
大西梓実	活動報告書作成委員長	東京女子大学 2 年	×

次年度幹事

荒川溪	次期事業部長	東京大学 3 年	×
茂木堯彦	次期事務局長	東京大学 2 年	×
金野愛子	次期北東地区代表幹事	宮城学院女子大学 2 年	

日本学生オリエンテーリング連盟

緑川拓也	次期北信越地区代表幹事	新潟大学 2年	×
青木大輔	次期東海地区代表幹事	静岡大学 2年	
二宮恵子	次期中九四地区代表幹事	山口大学 2年	

1. 自己紹介

自己紹介については上記出席者を参照。

2. 2004年度インカレミドル・リレー決算報告書の確認

資料参照

確認しました。

3. 春インカレ会計決算について

・資料参照

・2001下野の現在の状況

会計がまだしまっていない。

RMOサービスからの請求が来ていないため。

実行委員会からRMOサービスに対し、3月15日までに請求書を出すように請求する。

・2003年度伊賀インカレ

報告を受けました。

・2004年度日光インカレ

報告を受けました。

4. インカレでのジェネシスマッピング社への支払いについて

2004の日光でのジェネシスマッピング社からの請求書の明示を受けました。資料は総会にて配布いたします。

5. インカレにおけるプログラムや報告書について

資料参照

印刷費と代金の見積もりの例示を受けました。

現在、日本学連とジェネシスマッピングは印刷物の請負契約を結んでいるが、契約が切れた後に安いところと契約することも可能。

印刷形式の変更をすれば安くすることも可能。

必ずしもいると思われていないし、JOAでもプログラムを強制してないのだから、強制にしなくてもいいのでは。

各大学に必要な部数を聞くなど、1年間モデル的に減らしてみてもいいのでは。

あれば見るものだから、なくす必要はないのではないか。

等の意見が出た。最終的に、今のところは現状維持という結論となった。

6. 全日本大会の地図提供に関する状況報告

・JOAからの要望

フィットネスOの地図を1枚70円で提供して欲しい

決定していたのでは、1枚600円(ライセンス料400円・印刷代200円)

70円だとライセンス料が取れないうえ、印刷代も負担しなければいけない。

小学生などが参加するので、将来への投資として学連が負担してもいいのでは。

10/12の賛成で70円で提供することに決定。

・ジェネシスマッピングからの要望

地図作成費が180万円に上昇

決定していたのでは、150万円で作成する予定だった。

作成費が増えた理由を明らかにするようにジェネシスマッピングに求める。

作成費をあげるなら、JOAの買い取り代もあげるべきではないのか。

今後役員用のメーリングリストを使って議論する。

前日大会の地図作成費が25万円になるとの報告があった。

作成費の見積もりが出されていなかったのは問題ではないか。

コスト構造を明らかにするようにジェネシスマッピングに求める。

今後役員用のメーリングリストを使って議論する。

「やしお」・「番匠峰古墳」の周辺も拡張してはどうか。見積もりは80万円。

今後のインカレでの使用を考えたほうがいいのではないか。

12/12で学連の通常会計から支出しないことに決定。

将来的にインカレで使用するために有用である可能性も考えられるので、2月5

日にTCGで協議してもらうことに決定した。(12/12で承認)

矢板地区の地図の販売価格をどうするか。

上記議論によるので、保留。

日本学生オリエンテーリング連盟

今後役員用のメーリングリストを使って議論する。

7. 図書館情報大のインカレリレー特例措置について

- ・図書館情報大としての最後のリレー当日に、万が一メンバーが揃わなかった場合、特例措置として同大学 OBOG の参加を認めるかどうか。

前日に決まっても問題ないのか。

今回は事前に連絡があるから、対応できる。

O B ・ O G が入ったら他の選手に影響があるのでは。

多少影響があっても、最後のインカレだから走らせてあげたい。

結果を残すために O B をお願いするのはおかしいが、人数が足りないのなら仕方ないのでは。

現役がいるのだから、現役が走るべき。

今回の件に関しては、大学がなくなるという特殊な事態のため、特例として O B の参加を認める。

今後、但し、同じように人数が足りなくて特例をの承認を求められることがあった場合、大学が存続するようなケースでは、特例は認められない。

8. 今後のインカレについて

0 5 M ・ R (愛知)

0 6 L (駒ヶ根高原)

ジェネシスマッピング・関東のクラブが運営主体。

0 6 M ・ R (矢板)

0 7 L (加賀海岸)

東日本大会と一緒に開催。

実行委員は地元の人で決まりつつある。

0 4 L と同じような形式か。

まだ細部は決まってないから、学連から要望をだせる。

0 7 M ・ R (関西)

O B ・ O G などで実行委員のめどはたった。

次回総会で確定させたい。

トレインが決定したことのアナウンスをどうするか。もっと多くの加盟員に認知して欲しい。

いぶき・web・インカレのプログラムなどで告知する。

日本学生オリエンテーリング連盟

9. 富士での猟友会との一件に関して

資料参照

猟友会の存在や猟期など知らされないとわからない。

トレインの使用を申請したときに、教えてもらえるようお願いしていくべき。

トレインしようの際に、県協会に申請する理由は、

地図所有者だから。

報告書を利用する理由は、

トラブルがなかったかを知るため。

猟友会に連絡しても、連絡が猟師全体にいきわたるわけではない。

地区ごとに猟友会や地権者の連絡をネットワーク化する。

日本学連からJOAに意見書を出す。(担当 高橋関東地区代表幹事)

10. 院生のインカレ参加

第43回学連総会でとったアンケートでは、院生の参加を認めるという意見が多かった。

どうやって、加盟登録から4年以内か調べるのか。

加盟登録番号でわかるし、周りの人が気づくだろう。

2年目からとかの新人が出るかもしれないけど、一律高専卒には認めたほうがわかりやすくいい。

院に行けばインカレに出られて、仕事についた人は出られないのはおかしい。

オリエンテーリング部のある高専とない高専で、大学に入ってから扱いが違うのはおかしいのでは。

高専にオリエンテーリング部ができるまでの、一時的なものにしてはどうか。

地区代表幹事が各地区にもってかえって話し合うことに決定。

11. 評議員制度の廃止

後援申請書の変更

評議員と書いてあるのを、委員に変更する。

日本学生オリエンテーリング連盟規約の変更

44条に追加：委員はその目的を達成したときに解散するものとする。(次回総会で承認をとる)

日本学生オリエンテーリング連盟

12. 2005年度春インカレ実行委員報告

プログラム

ほとんど完成している。早大大会で配布する。

地図

だいたい完成している。

地図配布

総会のときに、古い地図を配布したので新しい地図を、地区学連の事務局に送付した。

法政大学について

最近OBにより活動しはじめた。

一般クラスではなく、併設クラスに参加したい。

学生からの意見は、次の実行委員でもいかされるので多くの意見が欲しい。

学生のお手伝いよろしくおねがいします。

13. 理事会報告

春インカレにおける実施規則の不適用条項の承認を行った。

インカレミドルのシード承認を行った。

14. 技術委員会報告

資料参照

4月に会議があるので、講習会や合宿などで要望があったら連絡が欲しい。

院生はインカレに出られないのに、インカレ優勝者をユニバーに選考するのはどうなのか。

動機付けになる。学連から予算が出ていることもある。

15. 活動報告書進捗状況

資料参照

16. 地区学連活動報告

資料参照

日本学生オリエンテーリング連盟

17. 各部局活動報告

事業部

秋インカレの報告書作成

早大大会で春インカレのプログラムと一緒に配布する。

春インカレの関係作業

後夜祭を新城で行う。

講習会の要綱を関東リレーから配布する。

事務局

特になし。

広報局

w e bの更新を行う。

いぶきをあと2回は発行予定。

普及部

普及部員に学部生が少ないので、普及部員を募集しています。

新規大学の加盟金は普及部で出す。

そのために連絡が欲しい。

学連の公式w e bサイトを使つての宣伝も考えている。

18. その他

事務局運営に関する取り決め

資料参照

2月中旬までに、来年度の予算案をたてる。

報告書をw e bに掲載する。

オリエンテーリング連盟概説

幹事長活動報告

インカレ実行委員長報告

インカレイベントアドバイザー報告

19. 次回幹事会の日程

インカレリレーの日(3/12)の夜、後夜祭会場付近にて開催予定